

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	5. 農林水産業費	事業名	10. 耕作放棄地対策事業			
項	1. 農業費	細事業名				
目	3. 農業振興費	担当課・係	農政課	(執行課: 農政課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	7,410	要 求									7,410
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	創造性と活力にみちたまちづくり / 農業の活性化と農村環境の保全されたまちづくり / 農地の利用集積を図ります。									
	【担い手育成と耕作放棄地解消に関する業務】	施策体系コード	04-01-02-20-20				事業番号	210-1				
	認定農業者、新規就農者が新規に利用集積を設定する場合、また、農業者が耕作放棄地に利用集積を設定する場合の支援を行います。	総事業費	10,910千円				事業期間	平成21年度～平成22年度				
		年度別事業費	21年度	22年度								
			3,500	7,410								
(事業実施に関する根拠法令) 農業経営基盤強化促進法												

< 事業に関する説明 >

<p>(事業の説明)</p> <p>農業の生産基盤である農地が、耕作放棄により減少傾向にある中で、食料供給力を強化していくため、担い手の育成と共に耕作放棄地の再生・利用を含め農地の有効利用を図る。</p>	<p>(事業の目的)</p> <p>高齢化により担い手が不足傾向となっている中、将来にわたり食料の安定供給と農業の持続的な発展に向けて、担い手の育成と耕作放棄地の解消と農地の利用集積の促進等を図る。</p>	<p>(事業の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規利用集積を支援することで、認定農業者、新規就農者の経営規模拡大が図られる。 新たに農業を始める農業者を支援することで、新規就農者の確保が図られる。 耕作放棄地の再生に対して支援をすることで、耕作放棄地の解消し、営農再開が図られる。
<p>(事業実施上の問題点)</p> <p>耕作放棄地の中では、所有者の不在等により、実施が困難な農地がある。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>